



2024年度 未来ファンドおうみ 助成先団体の手引き

◇ この手引きは、年度末に実績報告書を提出するまで手元
において、参考としてご覧ください。



Ohmi Network Center

淡海ネットワークセンター

公益財団法人 淡海文化振興財団

520-0801 大津市におの浜 1-1-20 ピアザ淡海 2F

TEL : 077-524-8440

FAX : 077-524-8442

E-mail: office@ohmi-net.com

ホームページ: <https://www.ohmi-net.com/>

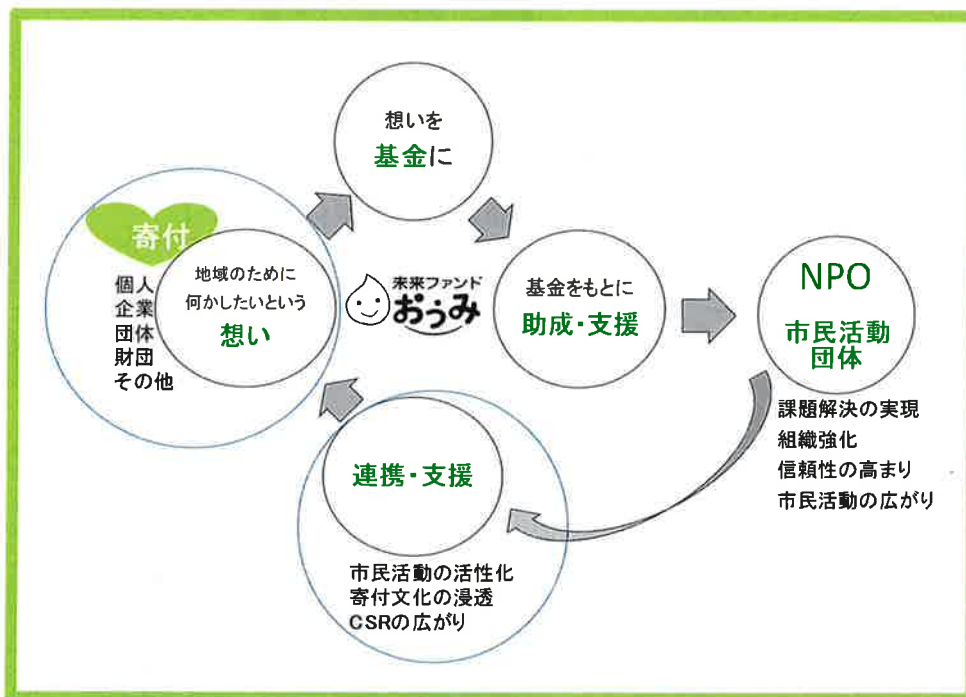
目 次

1. 未来ファンドおうみについて	1
2. 2024年度採択事業と各基金の特徴	2
(1) 2024年度採択事業一覧	2
(2) 各基金の特徴	3
3. 助成事業の年間スケジュール	4
4. 事業の進め方	5
(1) 活動予定表の送付について	5
(2) 広報についての約束ごと	5
(3) 事業内容の変更について	5
(4) 各種様式のダウンロード	6
(5) その他留意事項	6
5. 助成の対象となる経費について	6
6. 助成事業終了後の書類提出について	7
(1) 助成事業終了後の提出書類	7
(2) 提出期日	7
(3) 留意事項	7
(4) 会計報告書の記入について	8
(5) 領収書またはレシートについて	9

1. 未来ファンドおうみについて

淡海ネットワークセンターは、1997年の設立以来、地域の個性や魅力を高め、暮らしをより良くするためのNPO・市民活動団体等による自主的な活動を支援してきました。その一環として2002年度に「おうみNPO活動基金」を設立し、2011年4月の公益財団法人への移行を契機に、その基金の趣旨を引き継ぎながら、さらに幅広い助成や充実した支援につなげるために「未来ファンドおうみ」を創設しました。これまでに起こった助成は、312事業、のべ総額1億4千8百万円にのぼります。

「未来ファンドおうみ」は、“地域のために何かしたい”という想いを寄付としてお受けし、その想いを基金という形にし、その基金をもとに地域の課題解決に取り組むNPOや市民活動団体の活動を支援しています。



- ◆ 資金助成(お金による支援)
 - ◇ 助成金で支援します。
- ◆ 事業サポート(多面的な支援)
 - ◇ 当センターが実施する講座への案内
 - ◇ 他団体の活動紹介などの情報提供
 - ◇ 事業の実施、広報、組織運営、会計などの相談（無料）

2. 2024 年度採択事業と各基金の特徴

(1) 2024 年度採択事業一覧

基金名	団体名	事業名	助成額
びわこ市民活動 応援基金 (地域活性化 事業)	チームエンパワーメント	インクルーシブシネマ～障がい児、家族で映画館に行こう！～	300,000
	ういんどあんさんぶる樂楽	身近な場で吹奏楽を聴いて・参加して楽しむ機会を創出！	300,000
	特定非営利活動法人琵琶故知新	地理情報システムを活用した琵琶湖環境保全活動の見える化	300,000
びわ湖の日 基金	神田山を守り育てる会	里山神田山をみんなの力で魅力ある地域資源として守り育てる事業	200,000
積水化成品 基金	特定非営利活動法人 甲賀の環境・里山元気会	皆んなで楽しもう！里山元気会 20 周年記念『音楽祭』	200,000
笑顔あふれる コープしが基金	びわこ環境サークル	未来の自然エネルギーの燃料電池、温度差発電、振動発電を体験しよう！	100,000
	ははこ	ママが笑って子育てサポート	100,000
	こどものノリシロ	ヒゲじいの親子でワクワク自然とあそぼう！	100,000
ナカザワ NEO フレンドシップ基 金	特定非営利活動法人 米 原市多文化共生協会	みんなが集まる「みんなの食堂・みんなの農園」	100,000
げんさん食育 NPO 基金	特定非営利活動法人 NPO 子どもネットワークセンター 天気村	食育から共育ちでつくる「仲間づくり」と「ふるさとづくり」	100,000
湖国文学活動 応援むらさき 基金	鳩の会	日野俳句を次世代に伝え、日野の活性化につなげたい	100,000
	風のかけたる	聞き書きでつなぐ山中町の過去・現在・未来	100,000
びわ湖源流の 木遣い応援 もえぎ基金	木たまご東近江	滋賀県内産の未利用木材を利用した木たまご玩具の展開	100,000
	東近江市あらゆる場面で 木を使う推進協議会	100 年の森づくりビジョン びわ湖源流の森あらゆる場面で木を使うプロジェクト	300,000

(2) 各基金の特徴

びわこ市民活動応援基金

株式会社関西みらい銀行(旧株式会社びわこ銀行)と社員の皆さまからの寄付金により 2010 年に設立されました。

地域活性化事業 : 多くの人々に恩恵をもたらすような「公益性の高い事業」、あるいは地域のニーズに基づいた「地域の活性化につながる事業」に助成します。

先駆的事业 : 地域社会の課題解決のための「より独創的・先駆的な事業」、あるいはそのような事業の実施を目的とした「組織力の強化のための事業」に助成します。

びわ湖の日基金

びわ湖の日 30 周年を記念して 2011 年に設立されました。琵琶湖と琵琶湖につながる河川や森林などの保全に関わる実践活動や調査活動などで、今後も継続することが期待できる取り組みに助成します。

積水化成品基金

河川、森林や琵琶湖の生物多様性保全活動の支援を目的に、積水化成品工業株式会社からの寄付により 2012 年に設立されました。市民による環境保全活動の充実をめざし、年間をとおして継続的におこなわれる活動に助成します。あわせて、積水化成品グループ社員も社会貢献活動としてボランティア参加できる活動を対象とします。

笑顔あふれるコープしが基金

生活協同組合コープしがの創立 20 周年を記念して 2013 年に設立されました。「今を生きる私たちが、未来にも笑顔がある暮らしを残せるように、できることを一緒にすすめていきましょう」という想いの実現をめざす活動を支援することを目的としています。地域の高齢者の居場所づくりや見守り活動、子育てや食育など、身近な問題への取り組みによって、私たちのよりよい暮らしに繋がる活動に助成します。

ナカザワNEOフレンドシップ基金

株式会社ナカザワのアジア(ベトナム・中国・カンボジア)への海外店舗オープンを記念して、2014 年に設立されました。多文化共生の地域づくりを目指した、「子ども・教育」、「日本語学習支援」、「意識啓発・地域コミュニティづくり」などの活動に助成します。

げんさん食育NPO基金

元三フード株式会社の創業 110 周年を記念して、2015 年に設立されました。障がいのある子どもや若者が健やかに成長していくことを、食育などを通じて地域とともに応援していく活動に助成します。

湖国文学活動応援むらさき基金

紫式部の大著「源氏物語」の研究と語り部活動にたずさわってこられた発案者のご家族からの寄付を受けて 2015 年に設立されました。文学を介してこころ豊かな地域づくりを目指している、「湖国に因む文学に関わる活動」や「湖国に根ざす文学的な活動」に助成します。

びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金

発案者が「近くの山の木で家をつくる運動」に関わってきたことに由来し、「湖国文学活動応援むらさき基金」の対となる基金として 2017 年に設立されました。びわ湖源流の森の木を主な対象にした「新しい産物や製品の創出」、「木を使う仕組みづくり」、「木を使う大事さの啓発」、「地元の木を活かした特色ある家づくり」、「地元の木の新しい活用方法の創案」などの取り組みに助成します。

3. 助成事業の年間スケジュール

2024年

- 4月 助成期間の始まり
- 5月 概算払い請求手続き(希望団体のみ) →5月末に振込
★オリエンテーションへの参加(5/18)
- 9月 中間報告書の提出
- 9月～10月 ★中間報告・相談会への参加

2025年

- 1月 実績報告書の提出(※12月までに活動を終えた団体のみ)
→精算払い請求手続き→2月末に振込
- 3月 助成期間の終了
- 4月 実績報告書の提出(※1月に実績報告していない団体すべて)
→精算払い請求手続き→5月末に振込
- 4月末 成果報告書(発表会用資料)の提出
- 5月中旬 ★成果発表会への参加

※ ★は、出席必須の行事です。

※ 年に1～2回、現地・現場にお伺いし、活動の様子や進捗状況等についてヒアリングさせていただきます。

4. 事業の進め方

(1) 活動予定表の送付について

助成事業は4月1日からスタートとなっています。採択団体の皆さまは4月以降の予定が決まり次第、事務局に活動予定表(活動の日時や場所など)をご送付ください。(様式自由)

(2) 広報についての約束ごと

未来ファンドおうみの助成を受けて実施している事業のチラシ、ポスター、冊子等の印刷物、または情報誌や報告書などへの寄稿には、必ず「未来ファンドおうみロゴマーク」の表示と、未来ファンドおうみから助成を受けている旨の記載をお願いします。

<ロゴマーク>

下のロゴマークを使用します。

※ロゴマークデータは、淡海ネットワークセンターのホームページよりダウンロードできます。



<助成に関する表示例>

次のように、助成を受けている基金名を記載してください。

(例)

- この事業は、淡海ネットワークセンターの未来ファンドおうみ「〇〇基金」から助成を受けて実施しています。
- 未来ファンドおうみ「〇〇基金」助成事業

(3) 事業内容・予算の変更について

- ◇ 事業内容や予算を、提出した申請書から大きく変更する場合は、事前に事務局にご相談のうえ、「変更承認申請書」(所定の様式)をご提出ください。ただし、採択の趣旨とかけ離れた事業変更はできません。なお、事業実施の際に生じる多少の変更については、変更申請等は不要です。(ただし、事前に事務局までご連絡ください。)
- ◇ 悪天候や感染症の影響など、不測の事態によるイベントの中止については、できるだけ代替日で実施してください。やむを得ず中止となった場合も、事前準備等にかかるやむを得ない費用については対象経費とします。事務局にご相談ください。

(4) 各種様式のダウンロード

- ◇ 助成を受けている間に必要な各種様式やロゴデータは、淡海ネットワークセンターのホームページよりダウンロードできます。ただし、タイミングにより、前の年度のままでのデータもありますので、必ず当年度用の様式であることを確認してからお使いください。

【ダウンロード先URL】

<https://ohmi-net.com/jyosei/download/>

HOME > 未来ファンドおうみ助成金 > 採択団体様専用ページ



(5) その他留意事項

- ◇ 担当者の連絡先・住所等の変更がある場合は、お早めに事務局までご連絡ください。
- ◇ 開催するイベント情報やチラシ等を、当センターのホームページや SNS 等に掲載いたします。掲載希望の方はお気軽にご連絡ください。
- ◇ 寄付をいただいた企業や市民の方に、淡海ネットワークセンターから助成事業の内容や進捗状況について情報を提供しています。助成団体においても、できるだけ多くの人に事業を知ってもらえるような情報発信に努めてください。
- ◇ 助成の趣旨、申請事業にもとづいた活動をおこなってください。事業の遂行ができない場合、または虚偽の申請であった場合は、助成金を返還していただきます。

5. 助成の対象となる経費について

- ◇ 助成の対象となる経費は、申請事業に直接、必要となる経費です。
- ◇ 申請事業と直接関わりのない職員等の人件費、事務所の賃借料や水道光熱費、その他の維持経費は対象になりません。
- ◇ すべての助成事業の助成割合は 10/10 です。(助成対象経費の 100%を助成)
- ◇ 「会計報告書」は、下記の科目を使用して記入してください。

(採択事業に直接係る経費)

科目	内容
旅費交通費	交通費、ガソリン代、駐車料など
通信運搬費	郵送料、物品の運搬費など
器具備品費	事業の実施に不可欠と認められる備品の購入代
消耗品費	事務用品、材料、資材の購入費
印刷製本費	資料・チラシ・ポスターなどの印刷費・コピー代
燃料費	機材を動かすための燃料費
保険料	活動のための保険料
委託費	専門家などへ委託する費用
諸謝金	講師・専門家・スタッフへの謝礼金
使用料・賃借料	会場・設備使用料・機材賃貸料
教育研修費	事業遂行に関わる研修費・書籍代など

- ◇ 助成の対象となる経費は、2024年4月1日から2025年3月31日までの支出が対象です。
- ◇ 飲食代や菓子代は、原則、助成対象外です。ただし、こども食堂やクッキング活動など、事業に要する食材は助成対象(消耗品費)となります。
- ◇ 諸謝金については、活動当日の指導・協力にかかるものが対象となります。打ち合わせや報告書作成などの事務にかかる謝金、有給スタッフへの謝金は助成対象外です。

6. 助成事業終了後の提出書類について

(1) 助成事業終了後の提出書類

- ① 実績報告書(事業報告書+会計報告書)※所定の様式
- ② 領収書またはレシート(コピー可)
- ③ 事業に係る広報等の印刷物
- ④ 事業の実施状況がわかる写真や資料

(2) 提出期日

下記①②のいずれかでご提出ください。

- ① 2025年1月17日(金)締切 (※12月までに活動を終えた団体のみ)
- ② 2025年4月15日(火)締切

※書類が不備の場合は、点検作業に時間がかかりますので、支払いが遅れることがあります。

(3) 留意事項

- ◇ 事業報告書は、実施日、実施内容、スタッフ人数、参加者人数の記入が必要となりますので、忘れないように記録しておいてください。また、チラシや活動写真等も添付してください。
- ◇ 「会計報告書」については、領収書またはレシート(コピー可)の添付が必要です。最後にご苦勞される団体もありますので、活動スタート時点から準備をお願いします。

(4) 会計報告書の記入について

会計報告書
(2024年4月～2025年3月)

(単位:円)

科目	予算額		精算額	
	申請事業全体	未来ファンドおうみ 助成対象	申請事業全体	未来ファンドおうみ 助成対象
収入の部	①		②	③
未来ファンドおうみ助成金	100,000	100,000	100,000	100,000
〇〇売上高	30,000		20,000	
年会費	20,000		20,000	
収入合計	150,000	100,000	140,000	100,000
支出の部 (※2)				
旅費交通費	10,000	5,000	13,000	5,000
通信運搬費	10,000	5,000	12,000	5,000
印刷製本費	50,000	40,000	40,000	40,000
諸謝金	30,000	30,000	30,000	30,000
保険料	20,000	20,000	20,000	20,000
消耗品費	30,000	0	25,000	0
支出合計	150,000	100,000	140,000	100,000

①申請書(予算書)の金額を記入

②本事業で実際に発生した収入および支出を科目別に記入
(支出については領収書を添付)

③ ②のうち、助成対象とする金額を記入
(合計は助成金確定額)

- ◇ 会計報告書は、p.6 に記載の科目を使用してご記入ください。また、金額は、税込みで記載してください。
- ◇ 収入合計と支出合計が同額となっているか確認してください。
- ◇ 精算額が申請書の予算額と大きく異なる(と想定される)場合は、予算の「変更申請手続き」が必要になります。必ず事前に、事務局にご相談ください。また、助成金が余りそうときは必ず年度内に事務局にご相談ください。
- ◇ 会計報告書の裏付けとなる領収書は、確認しやすいよう、また重ならないように、科目別に「領収書添付用紙」(センターのホームページよりダウンロード可)または A4 用紙に貼って下さい。(科目毎に、科目名と科目合計額をご記入ください。)
その際、領収書の科目合計額と、会計報告書(精算額)の「申請事業全体」の科目別金額が一致するようにして下さい。

- ◇ 申請事業の趣旨にそぐわないと判断される場合、あるいは不適切な支出が認められた場合は、助成金を返還していただくことがあります。

(5) 領収書またはレシートについて

- ◇ 事業に係る領収書またはレシート(コピー可)は、購買先から必ず受け取って、保存してください。
- ◇ 日付は、原則、2024年4月1日から2025年3月31日までのものが該当します。
※ただし、会場使用料や保険料などで前払いが必要な場合は、この限りではありません。
事務局までご相談ください。
- ◇ 領収書の宛名は、団体名にしてもらってください。
- ◇ 領収書に品目が書かれていない場合は、金額を裏付ける明細書を添付してください。
- ◇ スタッフ等の交通費(旅費交通費)や自宅コピー代(印刷製本費)などについては、以下をご参照ください。

【交通費フォーマット例】

・スタッフの交通費については、日付、目的、経路、料金などが書かれた自団体発行の支払証明や下記のようなフォーマットにて提出いただく形で構いません。

※受取人の印鑑をお忘れなきようお願いいたします。

※ガソリン代は1kmあたり15~20円を目安に、自団体で決めてください。

日付	手段	目的	経路	計	受取人	受領印
XXXX/11/3	公共交通	〇〇イベント	京阪(石場~膳所) 170 バス(〇〇~〇〇) 200	370	〇〇 〇〇	①
XXXX/12/5	車	〇〇イベント	事務所⇒あやめ浜 10km×15円/km=150	150	△△ △△	①

【自宅コピー代フォーマット例】

・自宅等でのコピー代については、チラシ名、コピー枚数などが書かれた以下のようなフォーマットにて提出いただく形でも構いません。

※受取人の印鑑をお忘れなきようお願いいたします。

※コピー代は1枚5~10円を目安とし、自団体で決めてください。

日付	目的	枚数	計	受取人	受領印
XXXX /11/1	〇〇イベントのチラシ	100	¥1,000	〇〇 〇〇	①

【お問い合わせ先】

淡海ネットワークセンター(公益財団法人 淡海文化振興財団)

担当：辻原田

〒520-0801 大津市におの浜 1-1-20 ピアザ淡海 2F

TEL: 077-524-8440 FAX: 077-524-8442

Email: office@ohmi-net.com